

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8582
住 所 東京都品川区西品川 1 - 1 - 1
氏 名 株式会社日本アクセス
代表取締役社長 社長執行役員
佐々木 淳一
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社日本アクセス		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区田辺新田 1 - 7		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業, 小売業
	中分類	52	飲食料品卸売業
主たる事業 の内容	加工食品卸売業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量	2,777	k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ～ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

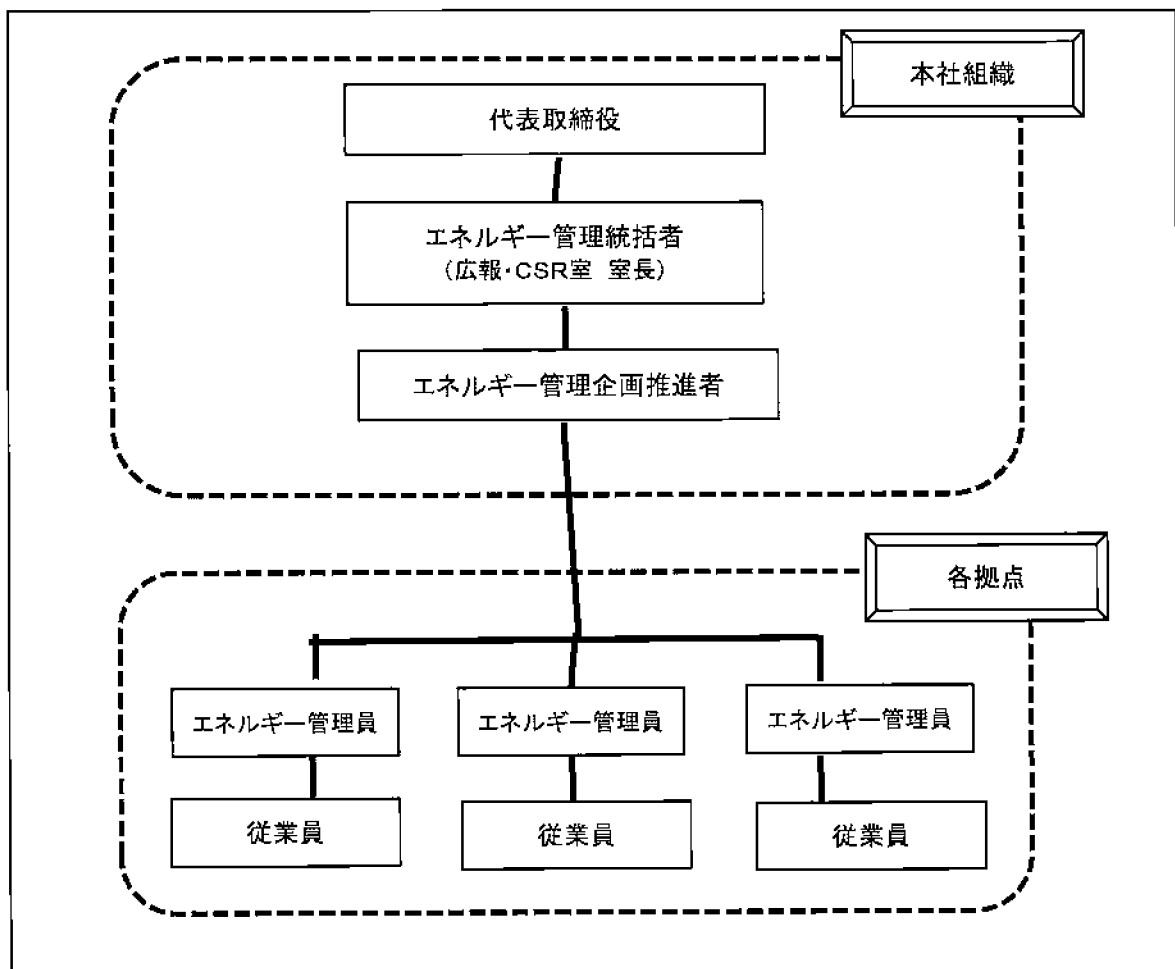
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

【環境方針】
 環境保全問題はその影響が地球的規模の拡大を持つとともに人類の生存に係わる問題です。日本アクセスは総合食品卸売業としてその社会的使命を果たしつつ同時に地球環境への配慮に努め次世代が豊かに安心して暮らせる社会の実現に貢献します。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

省エネの管理標準を着実に実行すること。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2018		年度	
目 標 年 度		2021		年度	
基 準 排 出 量		(実) 5,285 (調) 5,141	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量		(実) 5,128 (調) 5,117	t-CO ₂	(実) (調)	t-CO ₂
削 減 量		(実) 157	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実) 157	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0	t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率		(実) 3.0	%	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		延床面積			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /㎡			
基 準 年 度 の 値		0.09446			
目 標 年 度 の 値		0.09166			
削 減 率		3.0		%	

ウ 目標設定に関する説明

省エネ法に準じて年1%の割合で削減する事を目標とする。
 我社のエネルギー起源CO2は全て電気の使用によるものであり、節電の強化を図る。このため、従業員への省エネの啓発活動を通じて省エネ設備の新規導入や老朽設備の更新を検討する。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第1から6等を参考に記載してください。）

計 画	・外部機関の利用 外部専門家により省エネルギーについて教授してもらう。 ・庫内設備の維持・管理 各種機器設備について定期的に保守、点検を実施し老朽化等で非効率的稼働になっているものを見極めて改善に取り組む。 ・庫内設備の運用管理 庫内の効率的な温度管理を徹底する。 ・空調の運用管理 外気の有効利用やクールビズの実施により空調の有効的な切替を行う。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)		

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

・排出量の把握、伝達体制の整備 ・主要設備の点検と記録の保存 ・空調設備のエリア毎の管理、保守、点検 ・政府の推奨する空調温度管理 ・換気設備の適切な管理、保守、点検 ・適正な照度レベルによる調光 ・照度の点灯を施す区画の限定 ・昇降機の保守、点検

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()		
その他()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

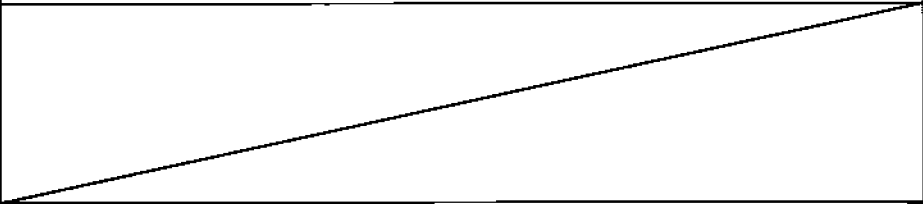
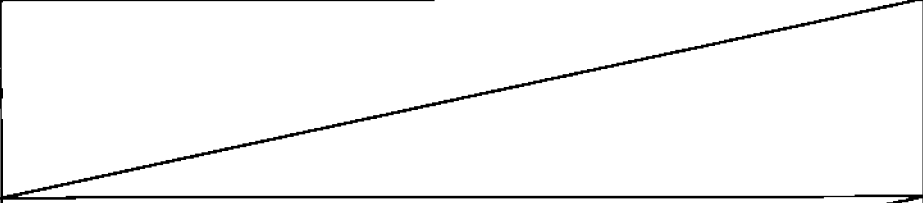
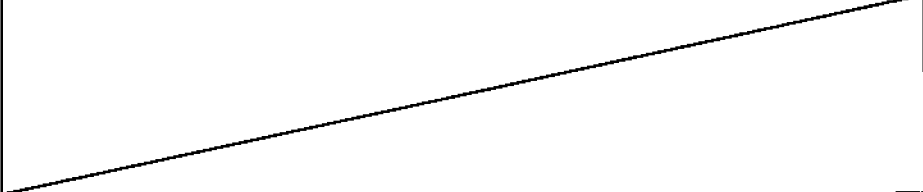
種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

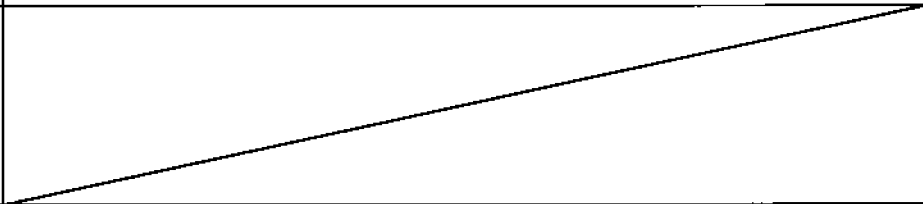
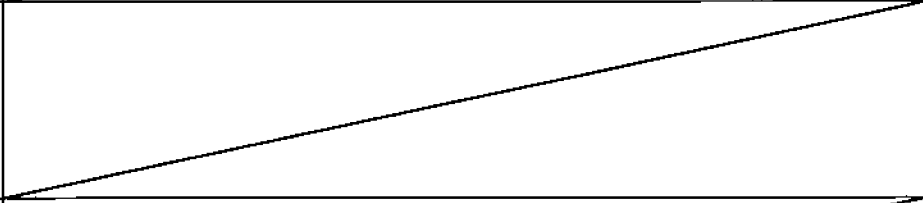
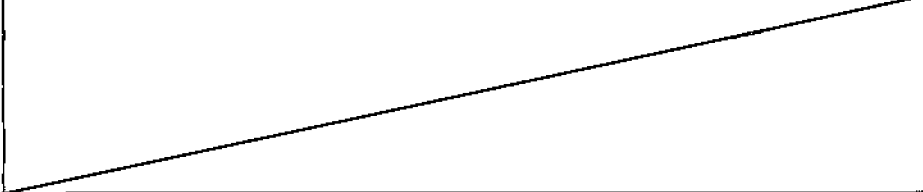
(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	
EV、PHV、FCV	×	その他()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	なし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	なし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

（1）事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

（実）	5,285	t-CO ₂
（調）	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

2,777	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

3

（2）事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
川崎物流センター	川崎市川崎区田辺新田 1 - 7	3,497 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂